

令和元年度 放課後等デイサービスくら 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	不明	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1			移転に伴い、活動の目的に応じた広さの工夫を行った。動きの多い活動室では広さを確保し、個別の課題学習を行う部屋は落ち着いて取り組みやすい広さの調整を行った。
	2	職員の配置数は適切であるか	5				基準以上の指導員を配置。各部屋の見守りができるようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5				玄関前のスロープ、居室の段差、ドアを工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				定期的に職員会やミーティングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				アンケートを実施、全職員で確認し、より良い支援を検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5			外部評価の方法は検討中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1			全員が研修会に参加し、事業所内での確認を行った。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				ミーティングを行い、現状の確認を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1			4	現在使用しているツールの利用方法について意識統一できるように見直しを図る。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				学習や集団遊び、創作活動等常々話し合ってきている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				学習や集団遊び、創作活動などでは、現状(季節、発達課題など)に応じた工夫を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				平日は個別学習、集団遊びを中心に、休日、長期休業は平日の活動に加え、創作活動や施設外活動を充実させている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				個々の状況に応じた個別学習と遊びや共同製作、集団行動トレーニングを合わせて計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				出勤時に書面等により確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				当日、職員間で情報共有や伝達を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				日々の記録を残し、計画書作成等に利用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			1	モニタリングについては新しい形式を取り入れ充実を図った。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				自立を目指したトレーニング課題、創作活動、学童や地域との交流を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				定期的な会議に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5				子どもの利用開始に合わせ、学校との連絡調整を行っている。急な行事変更にも対応できるように連絡方法を確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					現在対象となる利用者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	1	1	個々の状況により異なる。今後は、情報提供を受けられなかった施設に対して積極的に働き掛けを行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					現在対象となる利用者はいないが、今後必要になれば情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		1	事業所定例会への参加や訪問により協力体制を整えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1			放課後児童クラブとのゲーム交流を行った。児童館や公園での交流も行った。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1			管理者が参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				利用時の連絡ファイルの交換、メールや引き渡し時の連絡を行い情報共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			1	懇談、アンケート、引き渡し等の機会に相談を受け対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				契約時説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1			悩みに応じて懇談や電話でのやりとりを行い、保護者の不安に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	2	アンケートを実施し、保護者の意識確認を行った。R3年度以降に交流会を実施する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				問題発生時、迅速にミーティングを行い、原因、対応について確認、対処している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				くじらだより、HPにて行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5				守秘義務契約を結んでいる。情報の管理方法を確認している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				保護者に対してメール、電話も用いて丁寧に説明している。子ども達との意思疎通についても個々の状態に応じた視覚的工夫、言葉の工夫を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1		3	施設環境の問題も地域住民を招待することが難しい。移転に伴い、来年度以降は検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5				事業所内に掲示、保護者へ文書を配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				地震、火災、不審者に対する訓練、非常食体験を実施し、利用者、職員の行動を確認している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				虐待についての研修を行い、指導が難しい事例の対応についても話し合いを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			1	困難事例については全員の安全が確保できるよう職員間で対応方法を話し合っている。保護者に対しても状況を伝え理解を図っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			1	保護者からの情報提供を受け、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				注意喚起している。